

問1 顕微鏡で、接眼レンズの数字と対物レンズの数字をかけ合わせたもののことを何といいますか。

問2 花が咲いたあとに、めしべのもとがふくらんで実ができるために、必ず行われなければならないことは何ですか。

問3 ヘチマと同じように、めばなとおばなの2種類の花が咲く植物はどれですか。

問4 おしべとめしべが1つの花の中にある特徴をもつ植物はどれですか。

問5 めしべの先がねばねばしているのは、どのような理由からですか。

問6 顕微鏡で観察するときに、観察するものをのせたスライドガラスをステージに置き、クリップでとめたもののことを何といいますか。

問7 花粉がおもに風によって運ばれる植物の組み合わせは何ですか。

問8 メダカやヒトなどの動物で、めすのたまごにおすの精子が結びつくことを何といいますか。

問9 ヘチマの花のうち、めしべがあるのはどの花ですか。

問10 スギやマツ、トウモロコシなどの花で、花粉が風で運ばれやすいよう軽くなっている特徴を持つ花を何と呼びますか。

問11 接眼レンズの数字が10で、対物レンズの数字が40のとき、顕微鏡の倍率は何倍になりますか。

問12 おしべの先にある「やく」という部分では、何がつくられますか。

問13 めしべのもと部分には、どのような特徴がありますか。

問14 花がさいたあと、成長して実になる、ふくらんでいる部分はどこですか。

問15 おしべの先にある花粉の入ったふくろから花粉が出てくるとき、そのふくろはどのようなになりますか。

問16 ヘチマなどの植物で、めばなにはどのような特徴がありますか。

答え合わせ・解説 No.4

問1	答え 顕微鏡の倍率	顕微鏡の倍率は、接眼レンズの数字と対物レンズの数字をかけ合わせることで決まります。
問2	答え 受粉	花が咲いたあとに受粉が行われることで、めしべのもとがふくらんで実になります。受粉が行われないと、実はできません。
問3	答え オモチャカボチャの花	オモチャカボチャは、ヘチマと同じように、めしべだけがある「めばな」とおしべだけがある「おばな」の2種類の花を咲かせます。
問4	答え アブラナの花	アブラナの花は、おしべとめしべが1つの花の中にある植物です。
問5	答え 花粉がよくくっつくようにするため	めしべの先はねばねばしており、運ばれてきた花粉がよくくっつくようになっています。
問6	答え プレパラート	観察するものをのせたスライドガラスをステージに置き、クリップでとめたものをプレパラートといいます。
問7	答え トウモロコシやマツ	トウモロコシやマツは、虫などに頼らず、おもに風力で花粉を運ぶ植物です。
問8	答え 受精	動物のめすのたまごにおすの精子が結びつくことを受精といい、これによって新しい生命が誕生します。
問9	答え めばな	ヘチマの花には2種類あり、めしべがあるのは「めばな」です。もう一方の「おばな」にはおしべがあります。
問10	答え 風に花粉が運ばれる花	スギやマツ、トウモロコシなどは、風力を借りて花粉を運ぶ「風に花粉が運ばれる花」です。
問11	答え 400倍	顕微鏡の倍率は接眼レンズの数字と対物レンズの数字をかけたものなので、10かける40で400倍になります。
問12	答え 花粉	やくは、おしべの先にあつて花粉をつくる大切な部分です。
問13	答え ふくらんでいて、のちに実になる。	めしべのもととはふくらんだ形をしており、花がさいたあとに成長して実になります。
問14	答え めしべのもと	めしべのもとの方はふくらんでおり、この部分が成長して実になります。
問15	答え ふくろがわれる。	おしべの先にある花粉の入ったふくろは、われることでたくさん花粉を外に出します。
問16	答え めしべがある。	めばなは、ヘチマなどの植物でめしべがある花のことです。